

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスマナーⅡ(DB)		TDB106
講義名（コード）	ビジネスマナーⅡ		TDB106
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	デジタルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	塩見 知恵子	時間数	30
成績評価教員	塩見 知恵子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力における社会人教育分野の学びの中で、学生が自己理解管理能力向上の基礎を理解し、ビジネスマナーの知識習得、及び演習を通してビジネス社会の基本ルールを理解できるようになる。
全体的内容と概要	オフィスの常識と心構え「社会人基礎力」「ヒューマンスキル」を学ぶ。職場における基本的な知識を学び、ビジネスパーソンとしてのマナーや実践力を身につける。自己の考えを表現する力や他社とのコミュニケーション能力を育てる。
授業時間外の学修	復習課題としてレポートの提出を求めることがある。
履修上の注意事項等	学生の希望等により授業スケジュールは変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	就活のマナーについて考えることができる	①担任面接（全員） ②就活のマナー ③一週間の振り返り
2	就活のマナーに則って行動できる	①担任面接（全員） ②就活のマナー ③一週間の振り返り
3	身だしなみについて自ら考えることができる	①敬語の練習 ②「身だしなみ」 ③キャリア面接（指定） ④一週間の振り返り
4	日本のビジネス文化について自ら考えることができる④	①敬語の練習 ②「話を聞くととき」のマナー ③キャリア面接（指定） ④一週間の振り返り
5	グループワーク①	①敬語の練習 ②グループワーク ③一週間の振り返り
6	グループワーク②	①敬語の練習 ②グループワーク ③一週間の振り返り
7	グループワーク③	①敬語の練習 ②グループワーク ③一週間の振り返り
8	日本のビジネス文化について自ら考えることができる⑤	①敬語の練習 ②「時間厳守」 ③一週間の振り返り
9	日本のビジネス文化について自ら考えることができる⑥	①敬語の練習 ②「就業時間」 ③一週間の振り返り
10	日本のビジネス文化について自ら考えることができる⑦	①敬語の練習 ②「話の進め方」 ③一週間の振り返り
11	日本のビジネス文化について自ら考えることができる	①敬語の練習 ②「指示を受けたとき」 ③一週間の振り返り
12	面接を受けることができる	①敬語の練習 ②面接の練習 ③一週間の振り返り
13	面接を受けることができる	①敬語の練習 ②面接の練習 ③一週間の振り返り
14	期末試験	期末試験（内容は未定）
15	期末試験解説	①期末試験解説 ②1年の振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	『ビジネスマナーとルール』『就活・仕事のにほんごシャドーイング』
備考	